

老人と障害者の自立のための

**40周年記念**

**40th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2013**

会 期：2013（平成25）年9月18日（水）～20日（金）  
会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）  
出展社数：585社・団体（日本526社・団体、海外59社）※見込み  
開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）  
主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

## 16か国・1地域から、昨年より37社増の585社の出展が決定！

40周年を迎える40th国際福祉機器展H.C.R.2013は、介護・福祉機器の分野ではアジア最大、海外でも、アメリカのMedtrade、ドイツのREHACAREに次ぐ、世界トップクラスの規模の展示会です。

今年は、新たに出展が決まったマレーシアを含む16か国・1地域から585社が出展し、高齢者・障害者が使いやすい食器・衣類から先端技術を積込んだ福祉車両や電動車いすなどまで約20,000点の機器が展示されます。昨年よりも37社増の、充実の規模にて開催いたします。

### 【開催内容】（予定）

①福祉機器約20,000点を総合展示【WEBにて来場者登録を受付中です！】

②国際シンポジウム（9月19日）【WEBにて参加申込を受付中です！】

【1】「活力ある高齢化と世代間連帯へのドイツの挑戦-公的年金をめぐるパラドックスの解決策となるか？」

③H.C.R.セミナー（9月18～20日）【WEBにて参加申込を受付中です！】

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、以下をテーマに連日開催。

〔会場/会議棟6F、共通資料（1部1,000円）配付〕

【2】介護で腰痛にならないための基本技術を学ぶ～ボディメカニクスの理解と活用

【3】福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる実践研究、工夫とアイデア

【4】超高齢社会のまちづくり～柏市豊四季台地域での取り組みをつうじて

【5】福祉施設での感染症の知識と対応～知っておきたい感染症対策のポイント

【6】再生可能エネルギーの活用による障害者雇用の促進～エネルギーの地産地消に貢献する福祉施設

〔会場/東3ホール及び6ホール、先着順にて自由参加〕

【7】はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

【8】高齢者むけの手軽な日々の食事～惣菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画

〔会場/東3ホール及び6ホール、先着順にて自由参加〕

【9】障害児のための「子ども広場」 【10】ふくしの相談コーナー

【11】知っているとこんなに便利！～身の回りにあるテクノロジー(アルテク)で創る豊かで楽しい生活

【12】高齢者・障害者の生活支援用品コーナー～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」

【13】福祉機器開発最前線【本紙にて出展製品リストをご紹介します！】 【14】被災地応援コーナー

⑤40周年特別企画

〔会場/ガレリア・東2ホール前〕

【15】H.C.R.40周年記念パネル展示

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

## 福祉機器開発最前線のご案内 ～ 注目の新製品を集中展示・デモンストレーション～

高齢者・障害者の自立と介護を支援する福祉機器は、今や日常生活のさまざまな場面に浸透してきています。特に、ここ数年は、人間工学やセンサー技術の導入など、最新のテクノロジーを活用した福祉機器の研究・開発が盛んに進められ、高齢者・障害者の行動や自立生活の可能性を拓けてきました。

H.C.R.2013 特別企画では、今年も福祉機器開発の最前線を紹介していきます。

今年、経済産業省のロボット介護機器開発・導入促進事業の対象となった製品を含め、生体動作の支援や「見守り」など、日常生活に密着した機能を有する製品を中心に、注目の機器を計 12 社からご提供いただき、展示やデモンストレーションを行うなど、最先端の研究・開発に関する情報が発表される予定です。

◇場所：東6ホール内「特設会場C」

### <出展企業・団体と展示・デモンストレーション予定の製品>

1. 株式会社アイデアクエスト  
認知症の方などへの、非接触・無拘束ベッド見守りシステム (OWLSIGHT)
2. NK ワークス株式会社  
3次元電子マット式見守りシステム
3. キング通信工業株式会社  
～介護者の目となり、要介護者をやさしく見守る～シルエット見守りセンサ
4. 株式会社スマートサポート  
スマートスーツ
5. ソフトバンクモバイル株式会社  
アシストスマホ (仮称)
6. 株式会社テクノスジャパン  
高齢者ケア包括支援システム TASCAL (たすかる)
7. TOTO 株式会社  
ベッドサイド水洗トイレ
8. 東リ株式会社  
発電無線マット離床センサー イーテリアマット
9. ピップ株式会社  
見守りエージェント型ネットワークロボット
10. 富士機械製造株式会社  
起立・着座動作を支援するアシストロボット
11. マッスル株式会社  
ROBOHELPER SASUKE
12. 株式会社ルミナスジャパン  
上肢動作支援ロボット (アクティブギブス)

※企業名は五十音順

## 2013 年度版 福祉機器ガイドブックを刊行（9月4日より販売開始）

H.C.R.では、最新の福祉機器情報をユーザーの皆さまに幅広く提供するために、出展各社の製品情報、企業情報や、福祉機器の関連情報を掲載した「福祉機器ガイドブック」を毎年発行しております。

本冊子は、H.C.R.インターネット情報サービスの「H.C.R.出展製品紹介ページ」内に掲載されている製品データを1冊にまとめたもので、企業名、製品区分(82種類)、TAISコードなどでの検索が可能となっています。

H.C.R.2013に向けて、国内企業314社、海外企業59社の約1,700点の最新福祉機器情報（昨年度比で94社、約500点増のボリュームアップです）を掲載し、9月4日（水）に刊行、販売を開始いたしました。

出展企業ごとにH.C.R.会場の小間番号も記載されていますので、探したい製品を事前にチェックしたり、ご来場の際に携帯いただくととても便利です。

本冊子は、H.C.R.会期中に会場の各ホール入口の「福祉機器ガイドブック販売所」で販売されるほか、H.C.R.ホームページ内の「出版物のご案内」からもお求めいただけます。

<http://www.hcr.or.jp/publish/index.html>

- ・ A4判：303頁（カラー）
- ・ 価格：1,000円（税込、送料別）
- ・ 発行：2012年9月4日

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です

## H.C.R.2013 新製品の紹介／福祉機器ガイドブックより

◇アクション・ジャパン(株) 4Dハートフルクッション【移動機器】 15,540円

～今までになかった斬新なデザイン！～

骨格に適した中央突出形状を採用することで、骨盤を安定させて、自然に正しい姿勢を保持します。モチモチ感のある高密度ウレタンにより、座ったときの違和感はほとんどありません。

- (1) 骨格レベルで床ずれを防止
- (2) 自然に正しい姿勢を保持
- (3) へたりに強く耐久性抜群
- (4) ずれ力の対策も万全
- (5) とても衛生的でお手入れ簡単
- (6) カバーの滑り止め効果も抜群

◇(株)エムケーサポート 出入口除菌用噴霧装置 remove【感染症等予防用品】 399,000円

～人感センサーで自動噴霧、出入口で菌をシャットアウト！～

施設や建物の出入口にて人感センサーにより CELA を自動噴霧。施設内や館内に菌が持ち込まれるのを防止するための装置です。

◇LLPアトムプロジェクト パワーアシストレッグ「明日を歩く」【リハビリ・介護予防機器】

～自らの意思で行う足首・膝・股関節リハビリの支援ロボット～

足首・膝関節・股関節の屈曲・進展運動をアシストするリハビリ補助機器です。脳の障害や骨折などからの動作回復・筋力回復リハビリを補助します。ベローズ（空気袋）機構の採用や必要な関節だけをリハビリできることなど、安心・安全なリハビリを補助します。施設でのリハビリ用、個人でのリハビリ用どちらにも対応しています。

◇(株)ウインド モネ (グリップシート) 【日常生活支援用品】 315 円

～これは便利！鉛筆のように細くて持ちにくいものが持ちやすく～

5枚セットなので、色一杯の色鉛筆やクレヨンにつけてカラフルで楽しい絵がかけます。工夫しだいで使い方もいろいろ！スプーンや歯ブラシ、お箸、はさみ、ボールペンやマーカーなど身の回りにある細い持ち手を持ちやすく。シートは薄いので、じゃまなところははさみで切ったり、輪ゴムを利用するともっと使える幅が広がります。

◇ウチエ(株) あらえ～る [トイレ] 【トイレ・おむつ用品】 44,940 円

～丸洗い・清潔・快適！～

- 水、お湯で丸洗いができ、お掃除が楽です。 ●肘掛けはね上げ式ですので、ベッド等への移乗が楽です。
- 背シートの高さを3段階調節でき、座面の高さは7段階(34～49cm、2.5cm刻み)調節が、ピンロックで簡単に行えます。
- 肘下のスペースを利用して排泄姿勢がとりやすく、両足を開いておしりがふきやすくなっています。

◇(株)オフィス清水 カロニークラシック 【福祉車両・関連機器】

～車のシートがそのまま車椅子に。革新的ウィールチェアシステム。～

車いすのシートがそのまま車のシートに変身する、これまでにない全く新しいウィールチェアシステムです。回転ベースでシートを車外に回転後、シートと車いすベースユニットをドッキングさせることにより、ユーザーは車いすのシートに座ったまま、車の乗り降りを行うことができます。この画期的システムにより、介助者・ユーザーともに肉体的負担が大幅に軽減されます。本製品は車検対応品です。

◇カナヤママシンリー 新LAPPO (仮称) 【移動機器】

～本格モジュラーシステム車いす～

あの楽歩がモデルチェンジ。新型スイングアウト機構と跳ね上げ式アームレスト。サイズを370幅・400幅・430幅と3タイプ用意。会場で御覧ください。

◇グラフィージ(株) Grafgr×SEV 腰ベルト 【福祉施設・住宅環境設備/用品】

～SEV 技術を活用した介護従事者向け腰ベルト～

Grafgr×SEV の新製品「介護従事者向け腰ベルト」は、締め付けないタイプですので、介助の時はもちろん、就寝時でのご使用もおすすめです。

◇(株)カワムラサイクル ふわりす 【移動機器】 120,000 円 (非課税)

～カワムラサイクル最軽量車いす～

ただ軽いだけでなく、自走式・重量10kg未満・JIS認証・耐荷重100kgのすべてを満たした車いす。軽量かつ安心・安全設計。その上コンパクト設計なので、外出先でもスイスイ動いてお出かけが楽しくなります。明るいシートカラーもポイントです。

◇昭和貿易 CGX 【移動機器】 159,000 円～ (非課税)

～最高クラスの強度を誇る車いす、CGX 日本初上陸！～

独自に開発されたチルトシステムを採用することで強度と利便性を最大限引き出しました。キャリパーブレーキや自操用大車輪などオプションも充実。リクライニングオプションをつけると背角が175°とほぼフルフラットに近づけることができます。座幅・座奥共に10cm程度の成長対応が可能です。

◇新光産業(株) タスカルアルーラⅡ【建築・住宅設備】

～スリムとコンパクトを追求～

2010年の販売開始から実績を積みかさねてまいりましたアルーラをさらに進化させました。日本の家屋に合わせよりスリムにコンパクトに設計を行いました。階段の昇り降りにお困りな方をできるだけお手伝いできるような狭くて急な階段にも設置ができる昇降機を目指しました。

◇(株)タイカ ハイブリッド型車いすクッション アルファプラ ソラ クッション【移動機器】 157,500円

～「自動プッシュアップ機能」でアクティブな車いす生活を支える～

●安心の「自動プッシュアップ機能」でクッション内のエアセルが前後左右交互に膨張収縮することで、プッシュアップを忘れても床ずれや足のむくみの心配を軽減します。

●従来の静止型エアクッションは、エア量の調整に高い技術が必要でした。「ソラクッション」は、自動内圧管理システムにより、体圧分散性に優れ、常時適正な状態に保ちます。

◇ダブル技研(株) 「話想」(はなそう)【コミュニケーション機器】 450,000円(非課税)

～簡単！一つの画面ですべての操作！！新型・意思伝達装置～

「タブレットPC+液晶モニタ」で、介助者も楽な姿勢でコミュニケーションができるようになりました。マニュアルが不要なくらい操作は簡単です。付属の学習型リモコンで電化製品を手軽に制御できます。インターネットやメールの操作も楽々です。

◇(株)ナノオプトニクス・エナジー UNIMO - Grace【移動機器】

～安心・安全、どこでも快適な新感覚eモビリティ登場～

UNIMO - Grace (ユニモ・グレイス) は、従来の電動車椅子や電動カートでは難しかった段差や不正地での走行を可能とし、電車への乗り入れや360度回転によるその場での小回りを得意とします。高齢者用住宅や福祉医療施設での活用にとどまらず、アミューズメント施設や、観光地での利用導入を検討しております。

◇ナブテスコ(株) 抑速ブレーキ付歩行車 CONPAL【移動機器】 63,000円(非課税)

～急加速時に自動ブレーキが作動し、歩行車での転倒を防止します～

これまでの歩行車用抵抗器のように常時抵抗がかかることがなく、平坦地や上り坂では一般の歩行車と同じように軽く歩行でき、急加速時や下り坂でのみ自動的にブレーキがかかり、安心して歩行できます。後輪に新開発の抑速機構が内蔵されていますので、ブレーキによるタイヤの摩耗がなく、ブレーキ力の再調整も不要です。

◇西川リビング(株) モエナイト【福祉施設・住宅環境設備/用品】

～万が一の火災に備えて安心して頂ける西川リビングの防災寝具。～

『モエナイト』は公的検査をクリアした防災性と優れた安全性を実現した防災寝装寝具です。万が一の火災に備えて安心して頂ける日本防災協会認定マーク付きです。掛け布団、肌掛け布団、敷き布団、枕、ベッドパッド、防災カバー関係もご用意させて頂いております。

◇日本ケアリフトサービス(株) Travel Track【移動機器】

～持ち運び可能な設置式リフトです。～

トラベルトラックは使用したい時に使用したい場所で、しかも一人で設置が可能な可搬式設置型リフトです。専用ケースに収納して持ち運びが可能で、旅先のホテルでも設置して使用することが出来ます。

◇(株)ノダ 認識窓付き扉【建築・住宅設備】 122,800 円/セット～、税抜き価格

～認知症の方やお子様、職員にもわかりやすく～

認知症の方にも自室が判りやすいように慣れ親しんだ写真や絵などをとりつけることができます。写真や絵など、入れるものは簡単に交換できます。認識窓は透明樹脂製ですので、中に何も入れずに室内の確認用窓としても使用できます。

◇パナソニック(株) 補聴器モデル R1 シリーズ【コミュニケーション機器】 175,000 円～（非課税）

～おしゃれなのに目立ちにくい～

●面倒な操作をなくし適音に自動で調節（おまかせシーンセレクト機能）。

●電池保管・交換ツール“くるポン”付きで、毎日のお手入れを軽減。

●テレビや携帯電話とワイヤレスで通信（つながるリモコン）

■問い合わせ先 <http://panasonic.biz/healthcare/phchi/>

◇(株)松本義肢製作所 らくちんモック/だっこ「軽量携帯型ナイロンメッシュ担架」【日常生活支援用品】

9,600～14,000 円（税抜）

～軽量携帯型ナイロンメッシュ担架～

水も OK！非常・緊急時の担架としても活躍します。

◇マツ六(株) たよレール high【建築・住宅設備】

～突っ張り式手すりに横手すりをプラス、工事不要の手すりです。～

床と天井で突っ張って設置する手すりです。L 型形状の手すりです。様々なシーンでご使用いただけます。フローリング、カーペット、畳、クッションフロア、タイル、屋外等の床仕上げで安全にご使用いただくことが可能です。別売りのわたレールと連結することで、壁のない場所でも移動補助手すりの設置が可能です。

◇(株)ミツワエンジニアリング FRP 車イス エアロー01【移動機器】

～プラスチックの車イス～

FRP の車イス「エアロー01」は、自由設計可能な素材でソフトなイメージデザインの車イス。非金属タイプの車イスは空港等で金属探知機に反応しないためスムーズな通過ができ、又コンパクトなデザインのため機内まで乗換え不要です。

◇(株)リンディー・セールス Q コール電話機+コードレス徘徊マットセンサー【コミュニケーション機器】

～コードレスで、離床・徘徊を正確に検知して、緊急通報～

ベッドサイドや、部屋の出入り口、玄関に設置したコードレスセンサーマットで離床・徘徊を正確に検知し、無線拡張ボックスを経由して Q コール電話機から通報します。離床・徘徊を早期に検知することにより、介護負担の軽減へ繋がります。また留守中でも外出先や設定した連絡先へお知らせすることも可能です。配線工事費用が不要です。

\*上記の製品は、H.C.R.2013 福祉機器ガイドブックにお申込みいただいた新製品のなかから、掲載内容が確定したものを順次社名アイウエオ順で紹介したものです。特段の選考によるものではありません。

## 1. 国際シンポジウムは、間もなく事前申込受付が締め切られます

1 頁目でご紹介したとおり、今年度の国際シンポジウムは、わが国の将来の社会保障制度における大きな課題である、少子高齢化とその需要にこたえるための財源確保という需要と供給の仕組みづくりのなかでも、とりわけ、負担や支給の方法やあり方の見直しが検討されている年金の問題を中心に、関連の問題に焦点をあてることとしました。

そこで、1994年にはわが国に先駆けて介護保険制度を導入したドイツから専門の講師を招き、「**活力ある高齢化と世代間連帯へのドイツの挑戦～公的年金をめぐるパラドックスの解決策となるか？～**」をテーマに同国やEU諸国での介護や高齢者福祉政策の現状とその方向性などを報告・説明いただき、それを踏まえてわが国の今後の社会保障制度と財源のあり方を考察します。

今日のわが国の状況を踏まえた、興味・関心の高いテーマであったこともあってか、7月末から開始した事前の参加申込受付は満席に近くなったため、間もなく受付を締め切らせていただき、締め切り後に参加を希望される方については、当日（9月19日）12：30からキャンセルによる空席分のみの申込を受け付けることとなります。

◆開催日時：2013年9月19日（木） 13:00～16:00

◆会場：東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」

◆講師：Manfred Wienand（マンフレッド・ヴィーナント）氏  
SRHハイデルベルク大学 社会法教授、元ドイツ公私福祉連盟事務局長

◆チューター：近藤 純五郎 氏

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

◆参加費：1,000円

## 2. H.C.R.セミナーでは、長寿社会のまちづくりもテーマに

わが国の保健福祉・介護・医療分野におけるさまざまな課題を取りあげ、福祉・介護職の資質向上と情報提供のため開催する「H.C.R.セミナー」（1頁参照）では、今年度は、これからの長寿社会のまちづくりのあり方にもテーマの領域を広げます。

2030年には3人に1人が高齢者になるとの予測が公表されるなど、超高齢化に向かうわが国において、将来の人口構造には大きな環境変化がもたらされることが予想されます。したがって、さらなる少子高齢化社会に向けた暮らし方や、まちづくりを描くことは避けることのできない重要な課題です。

現在、千葉県柏市豊四季団地において柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構が共同で医療・看護・介護、就労、住まいなどを網羅した急激な都市高齢化に向けての本格的なプロジェクトが進められています。そうした取り組みの状況と課題に注目し、これからの長寿社会のなかでのわが国でのまちづくりをどう創造するべきかについて考える機会とします。

◆開催日時：9月19日（木）10:30～12:00

◆会場：東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」

◆講師：辻 哲夫 氏 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

（※H.C.R.セミナーについても、国際シンポジウムとほぼ同時期に事前の参加申込の受付が締め切られる予定です。）

## 3. H.C.R.特別企画にも、新しい企画が続々と登場します

1 頁目でご紹介したとおり、H.C.R.特別企画も、さらに内容の充実をはかり開催します。

なかでも、今年度、これまでとテーマの対象を変え、新しい企画として登場するイベントを次頁でご紹介いたします。

## 1) 親子で楽チン！ワクワク！入浴グッズ体験コーナー

【於：障害児のための「子ども広場」 東3ホール／特設会場A】

発育特性を踏まえた子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に、関連の福祉機器を総合展示や、機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーなどが設営される「子ども広場」に、今年は、新企画「親子で楽チン！ワクワク！入浴グッズ体験コーナー」が設けられます。

高齢者の入浴とは違った特有の悩みがあったり、さまざまな留意点を必要とする「障害のある子どもの入浴」に着目し、関連の機器を展示や上手な利用方法の説明や体験コーナー、入浴に関する相談などにも応じます。（協力：横浜市総合リハビリテーションセンター）

親御さんの腰痛予防はもちろん、子どもの大好きなお風呂の時間を楽しくするためにも、ぜひ体験、ご参加ください。

## 2) 高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー

～生活に便利なグッズ、その知られざる歴史とノウハウ「目からウロコ展」～【東6ホール／特設会場C】

その昔から、柏餅の味噌餡の葉は表面から、こし餡の葉は裏面から巻いて、中身の餡の種類を識別しているそうです。ところが、この手ざわりの違いによる識別が、目の不自由な方のための製品のさまざまな「ギザギザ」のルーツだっていうこと、ご存知ですか？

今年の高齢者・障害者等の生活支援用品コーナーは「目からウロコ展」と題し、障害のある人や高齢者などの自立や介助を支援するための福祉機器に隠された、知られざる創意工夫やノウハウ、研究の背景や歴史などを、パネルと製品展示で紹介いたします。（協力：共用品推進機構、テクノエイド協会）

## 3) H.C.R.40周年記念パネル展

～福祉機器を利用する人々をささえ、40年～ 【ガレリア・東2ホール前】

第1回の福祉機器展は、国の社会福祉施設の緊急整備計画が進められ、急増する老人福祉施設などで働く職員の腰痛や頸腕症候群などの職業病という問題が顕在化し、福祉施設の整備とともに設備の近代化として車いす、ベッド、浴槽などの福祉機器を導入して、職員の負担軽減や入所者の処遇向上などをはかることが急務な課題となっていた、昭和49（1974）年11月16日にスタートしました。

以後、老人と障害者の自立と参加を支えることを目的として、福祉機器展は毎年開催されていきます。

1986年には、はじめての国際展示会として開催され、1992年からは展示会の規模も徐々に拡大し、海外企業の定着化と国内企業の参加が大幅に増えながら、福祉機器の種類、技術・機能、デザイン性も飛躍的に拡充してきており、H.C.R.は欧米に次ぐ規模の展示会として、今日にいたっています。

そうした40年の歩みを、パネル展を通じてご紹介いたします。

※注1：この内容は平成25年9月4日時点での情報です。内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

※注2：各プログラムへの最新のご参加内容については、H.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内します。

**H.C.R. 2013 事務局**  
(財)保健福祉広報協会  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F  
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798  
[http : //www.hcr.or.jp](http://www.hcr.or.jp)